

さいごうの

方言



いなで(じ)会

いなでとは、方言で「束ねる」「つなげる」こと。

研究の輪が結束するよう

願いつけた名称である。

方言集の作成に寄せて

この度、西郷地区花水流の黒木輝子様の発起により、西郷地区の方言集がまとめられることに対し、これまでの調査や研究、そしてその編纂作業に心から敬意を表するところでございます。

これら、千を優に超える数々の貴重な方言は、正に当地の文化そのものであり、私たちの暮らしに彩を添えるのと同時に地域のぬくもりを感じさせてくれるものです。しかし、それらの中には近年聞くことがなくなったものも多数あると伺いました。

是非とも今回を機会とし、その保存と継承、そして方言をとおして先人が培ってきた素晴らしい文化を再度見つめなおし、そこから新たな文化創造の活力を見出していければと考えます。「温故知新」、今回、この作業に関わられた皆様の功績には多大なものがあり、真の生涯学習でもあるものです。貴重な資料として教育現場でも活用させていただきたいと思えます。

最後に、今後とも、皆様方のご活躍をご祈念し、方言集刊行に寄せることばに代えさせていただきます。

美郷町教育長 長尾 勇

目次

あ	一〜十一
か	十一〜十八
さ	十九〜二十五
た	二十五〜三十二
な	三十二〜三十五
は	三十五〜四十
ま	四十一〜四十四
や	四十五〜四十七
ら	四十七
わ	四十七〜四十八
を(他)	四十八
結び	四十九〜五十

方言集を作るにあたり、五十年先を考えてみました。おそらく、ほとんどの方言が消えているものと思われます。そこで、ここに記すにあたり、標準語を元に五十音順で作成しました。地元方言を大きく二つに、田代地区、山三ヶ地区と分けてあります。

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

あ 雨戸

うくと

あまど

雨だれ

しゃばたれ

〃

あけび

あけつぽ

〃

穴

あなんぽ (うど)

〃

足首

とりこのふし

〃

アイス

キャンデー

〃

あいこ

ぐわん

〃

飽きやすい

やかんたぎり

〃

(熱しやすく冷めやすい)

あなた

おぜ

わが

あとつぎ

かかりご(あととり)

〃

あせも

あせも

あせぶ

あなたたち

おぜどん(おじどん)

わがども

あの人

あじょう

〃

あの人達

あんどま

あつどま

あてずっぽう

あてつぽし

〃

汗びつしより

汗だり(になる)

〃

荒起し

はれおこし

はったおこし

(* 農作業ことばで、田植え前に最初に耕耘すること)

赤い

あけえ

あきやあ

青い

あうー

あうええ

甘い

あめえ

あみやあ

暑い

あつう

あてやあ

熱い

あてえ

あてあ

浅い

あせえ

あさやあ

飽きる

あんどする

〃

(すっかり)飽きる

あんどめつきりする

〃

あおむく

おおなく

〃

歩く

さるく

あるく

危ない

あぶねえ

あぶにやあ

集まる

こづまる(つくなる)

〃

(* どちらか一方に集まってしまふことを、いつこづまるとも表現する)

慌てる

うろたゆる

〃

穴を開ける

ほがす

〃

穴が開いた

ほげた

〃

あさる

あせくる

さんごじる

(* ごみをあせくる、と表現する)

頭ごなしに

頭べし(うってんごし)

〃

頭が悪い

びんたが悪う

びんたがわりい

朝早く(から)

朝よっぽ(から)

朝よっぽから(朝のよっぽちから)

ありがとう

おおきん

おおきん(おおきに)

味をしめる

味くらう

〃

(＊ あんまりうろたえとったもんで、忘れてきたと表現する)

暴れる

ばたぐるう(ばちぐるう)

〃

あやまって前に落ちる

ひっ飛ぶ

〃

あてつける

あだはい

〃

あてにならない

ほうけえさんぱちやねえ ほうきやあさんぱちや

にやあ

あらら

はくは(やいや、やいや)

〃

あんばい

あんべえ

あんびやあ

あのね

あのよね(あんね)

〃

あのように

あんげ

〃

挨拶代りのことば

よくい

〃

あやまって

しや

〃

あげくの果てには

あげくのさんぱちや

〃

赤ん坊と同じ

赤子と一緒に

〃

合間合間に

あいさあいさで

〃

雨でも降ったのかな

雨ばし振ったつちやろかい

〃

雨の日に泥をはね上げる　しやばたれ

〃

足をばたつかせる

足ぼたき

〃

あまり

あんまり

〃(えつと)

※あんまりかわらない・えつとわからない、と表現する。

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

い　イタドリ

さど

〃(どんやくり)

いっぱい

いっぺ(どんだかせ、山やんげ、どんやくり)

いっぴやあ

いっぱい

ことふと(ことにもにやあこと)

〃

いっぱい

はりくうで

はりこうで

(※ あんまりはりくうで食べたたら、どうかあるよ、と表現する)

いろいろ

なにへん(いろこせ)

なにへん

痛い

いてえ

いてやあ

いじわる

おどなあ

〃

いもり

いもげえれ

いもぎやあら(いもりやあ)

居間

おまえ

うちにやあ

一生懸命

せつぺ(はりくうで)

せつぴやあ

(※ 人の悪口を、はりくうで言うてあるかにやいかんわ、と、皮肉つ

て表現することもある)

一番いい洋服

いっちようら

いっちようべら

一日中 日なが一日（ひして） //

いくら なんぼ //

家の周り もうらい //

稲をまるめるひも いなで いなじ

行きどまり どんづめ 行きどまり

行ったり来たり 行ったり来たり ひつくりきやあくり

いらぬ世話 いたらん（いろわん）世話 //

嫌だ 嫌ど（くされ） //

嫌ねえ のさんねえ（なゆるねえ） //

（＊雨ばっかしで、のさんねえ、などと使う）

嫌だねえ のしゃあせんね //

（＊この子はのしゃあせんね。何しよつとね、と表現する）

いじめる せつがう（こなす） //

いいがかりをつける やまいもをほる //

（＊特に飲んだ時に、出る言葉）

いつもいつも いつもかつつも（ごつちごつち） //

（＊もろうてばかり。ごつちごつちすまんのう、と表現する）

入れて かてて //

痛める しょしむる //

（＊体を痛める、物を痛めたときに表現する）

炒める こかしま（め）むる //

いばる
ぎしゆむ (おせぶる)
えらぶる (おせぶる)

要らない
いらん

忙しい
せわしい
しよわしい

大変忙しい
せわしい
目トンボがまわる

いけぶりがあがる

胃にもたれる
ふくましい

うろたゆる
うろたえる

急がせる
せかする

急いで
やゝやで
川

色あせた
色あせた
きやあさめた

いかほどもない
いかくれえもねえ
いかくりやあもにやあ

いいように扱われる やぜえ回しにさるる やぜえあ回しにさるる

いいんじゃない
いいっちゃあねえ
ええっちゃあにやあ

いうことをきかん てんこつらん

言うことをきかない人（こども）
げどされ（ごくどうされ）
川

稲わらなどが肌にあたって痒い
はじかい

いい加減にせよ
てえげえにせよ

いい加減な
ほうらつな

(＊　ほうらつなやつじや、と表現する。)

いきなり
いきのばち
川

いつまでも眠らない
えらい目をはる
// えりやあ眠らんもん

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

う 牛の子

べえの子

〃

牛の雄

こつつ

こつて

牛の雌

うめな

〃

牛小屋の柵

けど

〃

牛や馬が飲む残飯類

ぞうみず

〃

裏返し

かやしんめえ

かやしんみやあ

上澄み

うわしゆる

うわこ(おわしゆる)

うそを言う

たんくわをきる

〃

うっとおしい

うぜろしい

〃

(* 子どもや虫がまとわりついてうるさく感じることを表現する。)

うるさい

うるせえ(せからしい)

せわしい

(* 騒音を感じるとき)

生まれ変わる

げえる

ぎやある

薄暗い

うどぐれえ

うどぐりやあ

打ち払う

うつぷるう

〃

うまい

う(ん)めえ

うみやあ

うまくいった

あんべらしいった

う(ん)まいといった

うまくうけとめられない とつとばかす

〃

(よく) 動くこと ぴんちよかんちよ

〃

(* 子どもの散髪をするときに、あるいはみみずなどを棒でいじつ

た時の表現

動くな

いんぞいんぞするな

〃

(※ 子どもをおぶつているときに表現する。)

うつかり

しや

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

え 偉い

えれえ(えずう)

えりやあ

偉い人

えれえもん

えりやあもん

(牛の) 餌

はみ

〃

会釈

よしやく

〃

えり好み

よりこのみ

〃

えらぶつっている

ぎしゅどる

えらぶつとる

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

お おまえ(たち)

おぜ(おじ)(どん)

わがども

大人

おせ

〃

押入れ

おしこみ

〃

尾根

おばね

〃

オス

おんちよう

〃

お茶菓子

手ぬくめ

〃

ポケット

おとし

〃

雑炊

おじや

〃

重さ

めかた

〃

重い

おむう

おみい

遅い

おすう

おせえ

大人びている

こましゃくれ

〃

おちぶれる

なぐれる

〃

(＊ どういうなぐれたもんけえ、と表現する。)

落ちる

ほらきおつる

〃

(果実が)落ちる

あゆる

〃

おびえる

おずがる

おぞがる

折る

つんもる

〃

折れる

おんぼるる

つんもるる

おもしろい

おもしろう

おもしれえ

おいしい

うめえ

うみやあ

大きい

おつきい

おつけえ

(＊ どういうおつけなもと、表現する。)

恐ろしい

おずう

おぜえ

おかしくてたまらない おかしいしてやれん(もてん)

〃

おかしゅうてたまらん

おの

よき

よき

起きてすぐ

ごそおき

ごつとおき

おちよくる

もどかす(とつらかす)

〃

おせじを言う

おせじを言う

ついしように言う

おだてる

おだつる(とぼやかす)

〃

例 子どもをあんまりとぼやかすな

(物事を)押しつける

(物事を)さでかける

〃

置いてきぼりになる

うちよかるる

〃

生い茂っている所

やぜら(やふら)

やぜらわら(やぶら)

押し付ける

なんかける

〃

(＊ 嫌な事なら、他人になんかけてよ、と表現する)

押し込む

へしこむ

〃

押さえつける

へしつくる

へしつくぬる

多くの量を一度に入れる

いっこむ

〃

おんぶする

かるう

〃

おんぶひもなしで

手じりかけ

〃

横着な

おどなあ

おどな

おつくう

よだきい(てそうな)

〃(てやそうな)

(＊ よだきがる[めんどくさがる]人のことを、どういうだおなもん

けえ、と表現する)

おつくうがる人

ずそ・ずくとれ・だおな

〃

おつくうで仕方がない

よだきいしてたまらん

〃

よだきいのなんの

〃

同じこと

ひとつこと

おんなしこと

思わぬ事

とつぴようしもねえ事

とつぴようしもにやあ事

(*) とつぴようしもねえこと言うな、と表現する。)

思わぬ物

えしれんもの

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

か からすうり

からすこへ

ちようちよこへ

かるい籠

かるかこ

かりい籠

(*) 籠の中でも、長方形の籠のことを、せんじよほごと言う)

かっぱ

ひようすんぼ

〃

体つき

づうたい 【五体(ごてえ)】

づうてやあ 【五体(ごてやあ)】

がかまえがふてえ

〃

かかと

あど

〃

かまど

くど

〃

かえる

びきたん (びきたろう)

〃

がまがえる

どんく (いぼどんく)

いぼどんく (わくど)

カマキリ

おがんちやろ

〃

金持ち

分限者

〃

肩車

てんぐまんま

てんぐるま

(傷の) かさぶた

かさつ

かさど

帰る

いぬる (もどる)

〃

(*) もういぬるわ、と表現する)

帰ろう

いのや(もどろうや)

〃

帰った

いんだ

〃

帰り時に荷物を背負う 戻り荷

〃

かゆい

かしい

〃

(＊ じりじりとした痒みのことを、いじりがいいと言う)

(＊ 稲わらなどが、肌にあたってかゆいことを、はじかしいという)

軽い

かるう

かりい

傾く

びやんぐる

〃

可愛い

むぞらしい(もぞらしい) もぞらしい

かわいそうな

むぞうな(もぞうな) もぞうな

賢い

えずう

えりやあ

格好をつける

いいかぶる

ええとこする

(＊ 格好をつける人のことを、だてぼうと表現する。)

乾く

いろく

ひやがる

(＊ 今日は天気がいいから、洗濯もんがいろくわ、と表現する。)

(のどが) 乾く

いろく

〃

※のどがいろいろいてやれん

帰るとき(に)

帰りがけ

戻りしにや

かまってあげないこと うしてふらかし

うしてさんぼ

かまわない

いろうてこそ

いろうてこ(く)そ

(＊ そんげなこたあ、いろうてこそ、と、表現する。)

関わりあう

とりあう(うてあう)

〃

(＊ あんげなもん、とりあいなんな、と、表現する)

かぶる うちかぶる(ひつかぶる) //

(※水をひつかぶる・人の罪までひつかぶったと表現する)

頑張る やる(はりこむ) //

(＊ 頑張る人のことを、えれ、やるもんじゃあと、表現する)

えくれ、はりくうでやるもんじゃ(田代地区)

えらいはりこうでやるがあ、は(山三ヶ地区)

髪が(大いに)乱れていること 千日がつそう //

※どうしたもんかその頭は、千日がつそうのごとしとるがと表現する

髪が伸び放題になる 頭がたちかぶる //

間食 よなけり 二晩めし

間食をする はざぐい //

ただ食い↓そればかり食べる・おかずばかり食べる時に使う

仮眠をとる ひとくじ寝る //

(＊ 通夜の時など、ひとくじ寝とかにや、明日がきつえばい、と表現する)

からだがきつい きつう きちい

体が思うように動かない がんねえがかなわん がんにやあがかなわん

体がきつくてついていかない やれこれもてん //

かななで削った小片 かななくず //

片方によること 片寄る 片ひよんぐり

片づける あかめる //

書いていない けえとらん かいとらん

からかう もどかす(ひょうくらかす) //

辛いばかり

あだがれえ

あだがりやあ(いがりやあ)

身体のあちこちが痛い

ほねくさが出る

〃

(＊ 普段元気な人が、病気になって長く寝込むと、腰やあちこちが痛

くなることを表現する。)

家長が座る所

横座の頭

〃

(＊ 昔、囲炉裏端には、それぞれの座る場所があつて、一番良い場所が、家長の座る場所であつて、嫁は一番隅っこに座るものであつた。風呂に入るのも、一番最後とされており、今思えば、かわいそうな存在であつた。同居するの

も当たり前前の時代は、昭和の最後まで続いたのである。)

肩掛け式の袋

ざつの

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

き 着物

べんべ(幼児語で)

〃

きゆうす

ちよか(きびしよ)

〃

共同作業

でぼし(やくめ・であいしごと)

〃

行儀

行儀

いずみやあ

(何度も刺した) 着物

どんぎ(ぎもの・刺し子)

〃

今日

きゆう

きよう

黄色い

きんねえ

きんにやあ

気が入らん

づがいらん

づくがいらん

気が抜ける

づが抜くる

づくがぬくる

気力がない

気力がねえ

えんずいがにやあ

気(体)が弱い

よろくそ

〃

気づかない

づかん

〃

気づかれないように抜ける　なたぬけ

〃

(＊　早よ、今のうちになたぬけしね、と、表現する。)

ききわけがない

がんぜがねえ

がんぜがにやあ

気味が悪い

えずろしい

よそわしい

気分が悪い(相手に対して)　胸むなくそが悪い　胸くそがわりい

(長く待ってたら) 来たね　来るこたきたね〓来やしたね　〃

休憩する

よこう

〃

きたない

きさねえ

きさにやあ

嫌い

なますかん

〃

協力し合って

よりようて

〃

(＊　よりやあでしようや、と表現する)

急に

ひよかつと

〃

筋肉質

しこつとる

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

く　くるぶし

とりこのふし

〃

くちびる

すば

〃

クレンザー

はげこ

〃

蜘蛛

こぶ

〃

(＊　今夜は一人じゃが、こぶにつりあげられんようにしよ、と表現する)

蜘蛛の巣

こぶのいげ

〃(いが)

悔しい しんきな //

愚痴を言う ぐずる ぐじる

くくる くびる //

くすぐる ちょこじる ちょこぐる

くすぐったい ちょこばいい //

靴を履く くつをふむ //

くどい くずう くでえ

暗い くれえ くりやあ

くさる すえる ねまる

下り くだり //

(* 反対語はのんぼり)

繰り返す せんぐる(動作の時) //

(* 焚物をせんぐる、と表現する)

焚物等を一度に目的地に運ぶのではなく、たくさん運ぶために途中まで運び、またスタート地に戻り、また途中までを運びを繰り返す、最終的に目的地に運ぶこと

くたびれる ひんだれる //

(* ああ、ひんだれた。やれこれもてん、と、付け加える)

具合 あんべえ あんびやあ

(* からだの不具合、の時に使う)

具合 ぐええ さそく

(* 機械物の不具合が生じたときに使う。ちょいとしたさそくじゃけんどねえ、と表現する)

ぐつすりと とつきらと //

食いしん坊

いやしんごろ

いやしごろ

くだらない

なんとんしれん

へともしれん

草木が茂った所

やぜわら

やぜらわら

口が達者なこと

口がかなう

口がかなう

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

け蹴とばす

(遠くに) けつとばす

けつたくる

げんこつ

かんくろ

〃

げんこつでなぐる

かます

こづく

元氣

げえな

ぎやあな

元氣がなくなる

しぼなゆる

〃

決断がつかない

胸が絶わない

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

こごぼう

ごんぼ

〃

ごちそう

ごつそ

〃

ご飯のおかず

めしのせえ

めしのさやあ

氷

かなくり

かなこり

ごきぶり

あまめ

〃

こづかい

こづけえ

こづきやあ

後頭部

どのくぞ

〃

こぶし

手こぼし

〃

五体

ごてえ

ごてやあ

(＊ あんまりはりくうだらごてえがいてえ と表現する)

怖い

おずう

おぜえ

転ぶ

ひっこくる (ほたり) こくる

〃

こぼす

ひっこぼす

〃

困る

なゆる

〃

(＊ 火事におうてなえたのと表現する。困った時の慰めことば)

困った時に使うことば

のさん

〃

(人から頼まれた時に、んだ どうしゅう ようせんがあ。 のさんよう、とか、
なゆるよう、とか使う)

困った時に相手に使う言葉

のしやあせん

〃

(＊ この子は今まで何しとったものかしれん。まあこと、のしやあせんねえと表現
する)

懲りた

懲りた

こんの根性した

こすりとり

こさぐ

〃

香ばしい

かばしい

〃

交代に

かてりごし

かてやありごし

こんなに

こんげ

こんぎや

こまったねえ

なゆるよ (のしやあせん)

〃

こわれる

くゆる

うちくゆる

ごまかす (話をそらす)

ひとくり

まぜごとを言う

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

さ 魚

い お

〃

(大きな) 皿

さらんばち

〃

ざる

しょうけ

〃

(魚を) さばく

(魚を) いびる

〃

寂しい

さぶしい

さぶしい(さびしい)

残業手当(がつく)

ぶ(がつく)

〃

叫ぶ

おらぶ

〃

残念がる

悔やむ〓しんきながる

〃

逆さま

しさかし

さかたくり(しりさかし)

探す

こせくる、あせくる、さんごじる

〃

触るな

いびる(ん)な

〃

急な坂

たつう坂

たちい坂

材をずらす所

ずり

〃

寒くてたまらない

寒うしてこしやきれん

〃

最初から

しよっぱなから

〃

雑な様子

くぞうもくぞう

(くぞほっぽう・ほっぽほうらい・やったかぶし)

(* おぜ(おまえ)がするこた、くぞうもくぞうじゃ、と表現する)

雑な事

ぞうらくな

〃

(* 大体することが、ぞうらくなわ、と表現する)

左右が違う

かたかた

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

し

尻

しったぶら、けつ、しりたん、けったぶら

しりかぶたん

しつぽ

しりつぽ

〃

敷居

とざくり

〃

椎茸

なば

〃

じいさん

じゃん(じい)

〃

しゃつくり

げつくり

〃

親類

だんくるう、しんずう、ひつとりこつぱり

だむりい、だんくろ、しんりい

20

自分

みんみ

めんめ

(下に)敷く

すける

〃

下を向く

くんずく

〃

(* ぬつくんづいてしまう、は、自信がなく、長時間下を向く)

反対語はおおなく

しなさい

しね、しよ

せえ

仕方がない

てなわん

てにやわん、しょうがにや

茂る

たける

〃

浸み込む

どじゅむ

〃

シミが出来る

ゆみあざがふる

〃

(＊ 洗濯物を雨に濡らすと、よみあざがでくるがね、と、表現する)

時間を作り出す せり出す

〃

(＊ なぐれたぶん、せつださにやあ、と表現する。)

時間をつぶす

なぐれる〓暇くらあす

〃

(＊ 但し、なぐれるというのは自分のとこの仕事以外で時間をつぶすことをいう。ひまくらあす、というのは行きあつておしやべりして

時間を費やしてしまうことをいう)

自慢する

おおげんを言う

〃

心配する

しよわやく

〃

失敗する

やりする

〃

しまった

しもうた

〃

しおれる

しばなゆる

〃

渋い

しぶう、しびい

しびい

しやがむ

つくなむ

〃

退く

ひぞる

〃

十分ではない

おんくあにねえ

おんくあにやにあ

(もう)したくない

してえねえ、やっちゃおれん

しとうにやあ〃

知ったことか

知ってくそ

〃

情報をよくしっている

こそしり

こそあしり

邪魔する

せまぎる

せえあやまぎる

じやれつく

すなどる

〃

しまりがたい

ゆるぐわてえ

ゆるぐわてやあ

仕事夕方までかかった よづむる

〃

芯まで煮えていない はんた煮え

〃

芯まで焼けていない はんた焼け

〃

しょんぼりした顔 しょぼくれたつら

〃

しんぴん

あば

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

す (部屋の) 隅

すまぜ

すまぜ

ずるい

こすう

こしい

少ない

すくねえ

すくにやあ

すつかり

すつたり

〃

ずさん

いたりがねえ

いたりがにやあ

ざまがねえ

ざまがにやあ

すねる

しゆぬる

しゆうぬる

捨てる

ふらかす・うつする

うしつる

すべる

ずめる

〃

滑り落ちる

づれ落つる

〃

すりむく

ずりむく

〃

すり寄ってくる

ぜつつく

〃

(* そんげぜつつう(い)てくんな、と表現する)

好かん なますかん（いっちよんすかん）

いっちよもすかん（ひとつつもすかん）

少し ちびつと //

少しもない いっちよもねえ いっちよもにやあ

ゝ するたびに ゝ するかつのゝするごつち

（＊ なんでも習うかつの忘れてしまふ、と表現する）

少しも進まない ちーつともはかどらん //

すぐに飽きる じきあんどする //

すつかり飽きた あんどめつきりした //

すまないけれど すまんけんど //

わるうけんど わりいけんど

ずぶぬれになる ぼたぬれになる //(ぬれしよぼたるる)

素早しっこい すこばえ すばやあ

することが早い さづう さでえ

過ぎしやすくなつた みがんがいいなつた //

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

せ 正座

(幼児語で) ちんちひざ ちんちんひざ

全部

べらくり

ごろりがつさや

狭い

せべえ

〃(せびやあ・せみやあ)

狭苦しい

せつくろしい

〃

全然聞いてない ぼうど耳にやいっとらん ぼうど耳口にやいっとらん

背筋をそる

そねばる、ぞねばる

〃

(* そねばって歩くね、と表現する)

精米をする

米をふむ

〃

背伸びする

のぜ(び)あがる

〃

節度がない

いたりがねえ

ざまがにやあ

世話を焼きすぎる

せまぎる

せやあまぎる

世話焼き

せわやき

しよわやき

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

そ

ぞうり

じょうり〃 [じょっこ (幼児語)] 〃

外股

外がま

〃(そとがつつちよ)

そつくり

すぬけ

〃(そつくり)

雑炊

ずうす、おじや

ぞうすい、ぞろ、ぞうしい

おじや

傍 にき、わき、ねき ねき

そうよ さありやよ //

(背中が)ゾクゾクする ぞんぞんする //

供える もする みやあする

素行の悪い人 がんたれ・ぐわんたれ //

そうぞうしい そうがましい //

それでは(別れ) そんならの、またの //

そのように せんげ そんぎや

そんなこと そんげなこと そんぎやなこと

そのことから逃げる かかりあわん・うてあわん //

(* おりやあ、そのことにやかかりかまいなしじゃ、と表現する)

(標準語) (田代地区) (山三ヶ地区)

た 焚き付け(小枝) じゃんべら じゃんびやあら(びやあら)

だんご だご //

(* よもぎだんごのことを、ふつだごという)

たぬき たのき //

大根 でこん だいこん

竹筒 竹のぼっぱ //

(梅の) たね さね

〃

タモ てたぶ

〃

高い たけえ

たきやあ

叩く どやす (叩きまわす) 叩きしぐ

太刀打ちできない はぶしやたん 〃

束ねる まるかす 〃

大変じゃあ でいじゃあ (ぼくじゃあ) でやあじじゃあ (〃)

大変な事が生じる でえじがたぎる (おきる) でえあじがおきる

(* でやあじなこてえなつた、とも表現する。)

大変だねえ のさんねえ (のう) 〃

(全部)倒れる べたごけ 〃

大体 てげてげ てやあぎやあ

大変少ない えーれ、すくねえもん (田代地区)

えりやあ すくにやあもん (山三ヶ地区)

大変忙しい ひとりせわしいもんじゃあ (ねえ) 〃 (にやあ)

(* 盆と正月がいっぺんにきたごつある、と表現することもある)

大変疲れること すつたりだれた 〃、どやんぼうになつた

助け合つて 押しええへしええ 押しやあへしやあ

互いに加勢する かてり かてやあり

縦に真つすぐ まつたてしゅうに

たまげる たまがる、ひつたまがる 〃

出しおしむ

胸がきれん、きちんぼう

〃、よくじろう

胸がこめえ

抱く

うだく

〃

垂れる

すたたる

すただる

疲れる(た)

どぐれた、だるる(だれた)

〃

食べね

食いね

〃

たいしたことはない
たいした量じやない

てえしたこたねえ
いかくれえもねえ

たいしたこたにやあ
いかくりやあもにやあ

(＊ いかくりやあもねえけんど、よかったらつこうてやらっしやい、と表現する。)

たいしたものじや

ゆうしたもんじや

ようしたもんじや

たいそうなことをしでかす

ようやった

はばやった

たまには

どこづに

たまにや

度々

やんだり

やんでやあり

だんだん

次から次に

たんだたんだ

(＊ たんだにてくると、表現する。)

たくさん

ぎょうさん(ようけ、こめねえ、ことふと、

ことふつ、よんによ、えれえ)

〃(いきやあこと)

たくさん的人数

えれえなひと

〃、ぞろりがっせやあ

だらしない

ざまがねえ

ざまがにやあ

いたりがねえ

いたりがにやあ

平らな

でえら

でやあら

でこぼこしていること　だんぐりひよつくり　だんぐりひよつくり

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

ち　茶の間

おまえ

うちにやあ

ちぢれ毛

ちゅぢゅげ

〃

血まみれ

血どろさん

〃

(山)頂上

とつぺん、ちよつぺん

〃

長方形の籠

せんじよほご

〃

丁度いい

がつつりがんのめ

〃

小さい

こんめえ、ちんめえ、ちんこめえ

こんみやあ、ちんこみやあ

小さいのに生意気なことを言う

こつさく、こしやくな

〃

(洋服が)小さくて苦しい

きつう、せつくるしい

きちい

近寄る(人)

よつつく(ぜつつく)

〃

散らかす

ひつちらかす(ひつさがす)

〃、さつさがす

散らかし放題

通りもときやあもにやあ

力がなくなる

がてえひつきる (あやがねえなる)

がてやあひつきる

小さくて扱いにくい　手にまめらん

〃

(戸の)調子が悪い　ず(ぐ)つれが悪う

ぐつりやあがわりい

中途半端に煮えている事

はんたにえ

〃

中途半端に焼けている事

はんたやけ

ちようなで削った小片

こつぱ(板ばこつぱ)

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

つ

梅雨

ながし

〃

つば

つづ

〃(つづば)

通夜

よとぎ

〃

つまらないこと

へともしれん

〃

冷たい

ちみてえ

ちみてやあ

連れなう

つんのう、つんなう

つんなう

(* つんのうて行こや、と表現する。)

都合をつける

ぐりあわせる

〃

繕う

ふせる

〃

(* 何度もふせることを、ふせこくると言い、ふせこくったものを、どん
ごろす、と言った)

29

(長時間) 作業を続けること やりからやり

〃

(* やりからやりじゃあやれんが、ひとよこいしょうや、と表現する。)

つまづく

けつまづく

〃

つぶれる(物)

へっしゃげる、べっしゃげる、ひっしゃげる 〃

疲れて足が棒のようになる 足がすくれる

〃

(* 足(腕)がすくれて、もうよう歩かん、と表現する。)

使い出がある(ない) だがある(ねえ) だがある(にやあ)

つられて食べる

せらい食い

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

て

電球

電気のほや

〃

ティツシュ

ちり紙

〃

できない

でけん(ええせん、やすせん)

でけん(よう

せん、やすせん)

手に余る

およばん

〃

手におえない

しまたつかん(しまたうたん)

〃

手ぬぐい

てのぐい

〃

手のほどこしようがない しまつもごまつもおえん

〃

(＊泣きでえたら、しまつもごまつもおえんとよ、と表現する。)

でしゃばる

せえまぎる(やじばる)?

せやあまぎる

出来もしないくせに

でけもせずおって

できるがんにやあ

でけもせずおって(田代地区)

えきりかにやあもせずおって(山三ヶ地区)

出かけてさえないなければ

出かけてばしおらにや

〃

丁寧な

ねんしやな

〃

(＊ねんしやな人のことを、ねんしや坊、と表現する。)

手をかけない

ほったらかし(うしてふらかし)

〃

手や着物の袖で鼻をふく

よこずりする

〃

手の平をくぼませたもの

手くぼ

〃

(＊手くぼで食ぶるから、皿はいらんよ、と表現する。)

手で掻いて集める

こさぎあつめる

〃

さらびやあ集むる

手で集めて入れる

さでこむ

〃

手で打ち払う

こさぎのくる

手をわずらわせる

手をかすらう

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

と

とげ

ちよんぐ

くい

友達

とき

〃

ガマガエル

どんく

〃

土間

どじ

どうじ

土砂

ぞうれ

〃

突然

ひよかつと

〃

(＊ ひよかつと思ひ出したつちやけんどよ、と表現する。)

得意技

えてのこぶし

〃

年寄り(ねこ)

ぼんこ(ねこ)

〃

届かぬ

とわん

〃

どうしたの

どうしたもん(けえ)

どうしたもん(きやあ)

どうしても

しゃっち、しゃっちこっち

〃

どうでもよい

どんげでもいい

〃 なぞらなげ

取りつくしまもない

とっつきははねえ

とっつきははにやあ

取るにたりない

あかん

〃

(草を)取っている

とつとつと

とりよつと

途方もない

とけつちもねえ、とほうもねえ

〃、とほうもにやあ

所どころ

とんびまんび

〃

(＊ 田植えで、とんびまんび植えてきた、と、表現する。)

(練習もなしに) 突然行うこと

うまやだし

まやだし

取り柄がない

とつとごさんばちゃねえ

とつとごさんばちゃにやあ

土台をなくす

元もこもねえ

〃

どだやあをうっぱらした

動機がする

胸がただつく

〃

泥(水) がはねかかる

しゃばうち

〃

泥だらけ

泥べたくり

〃

どこかになくした

どごんげなつたもしれん

〃

ときどきは

どごづにやあ

ときどきやあ

どんな

どんげ

どんぎやあ

とどのつまり

あげくのさんばち

〃

どうにかこうにか

やつとかつと(やらやつと)

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

な

怠け者

ずそたれ (ずそ・ずくとれ)

〃

仲間

てやあ

〃

生意気な

こつさくな

〃

(＊ こつさくなことをすんな。主に子どもに表現する。)

何の役にもたたない

へのつつぱりにもならん

(逆さまにして)

中の物を出す

いっくつかえす

ひっくつかやす

(＊ 籠をいっくりかえーてみよ。すつと、でてくるわ、と表現する。)

生暖かい

ほほらぬくう

ほほらぬきい

ほだほだする、とも表現する。

(＊ どういうぬくうもん。足がほだほだするねとも表現する。)

なめる

ねぶる

〃

なくす

ねえならかす

のうならかす

なんとか

へとかと

〃

(＊ 物事を、へとかとやっつけた、と表現する。)

何度も同じことを言う

せんべんぐり

〃

何とも知れない

へとしれん

〃

何かにつまづいて転ぶ

けつまづく

〃

(ゝが) 流れ落ちる

(ゝが) すただる

〃

(＊ 汗がすただる)

(ゝが) なかなか出てこない

(ゝが) ねっから出てこん

〃

(＊ 名前がねっから出てこんだした、と使う)

何回も行ったり来たりすること

ひっくりけつくり

ひっくりきやあくり

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

に 人夫

やつうど

やていど

苦い

にげえ

にぎやあ

臭い

かざ

〃

(＊ 動詞として使うときは、かざる、と表現する。)

匂いを嗅ぐ

臭いをかざむ

〃

(自然に) 臭う

(何か) くせえ

くさやあ

逃げる

逃ぐる

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

ぬ

ぬるい

ぬるう

ぬりい

ぬくい

ぬくう

ぬきい

(敗れた所を) 縫う

ふせる

〃

(* ふせるを繰り返すことを、ふせこくる、と表現する。)

(そつと) 抜け出すこと

なたぬけ

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

ね

根っこ

ね、ねさ

ねさ

眠らない

目をはる

眠らん

眠くてたまらない

眠うしてたまらん、目くちやあかん

〃

粘り気が強い

ねべえ

ねびやあ

ねたむ

しよのむ

しよなむ

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

の 飲みすぎてよたよたになる よくらう

〃(ようくらう)

飲み込む

ひんのむ

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

は はきけ

のざえ(ゆ)る

〃 ばら

裸足

はだしばら

〃

腹を立てる

けたる、はらかく

はらかく

バツタ

ギメ

〃

晩御飯

ゆうめし(ばんめし)

ようめし

晩酌

だりやめ

〃

恥ずかしがりや

しよしんぼう

〃

はつきりしない

どじれん〓ぐつがへげん〓あけたもくれたもしれん

(* ぐつのへげんやっちゃ、と表現する。)

弾んでる

きううとる

はずーとる

走る

とぶ

〃

(但し、「早く走って来い」のことを田代弁では、「早う

ーでくー」と言う。

山三ヶ弁では「早う

とーでけー」と言う。

はしゃぐ

すばゆる(はずむ)

〃

始める(仕事)

うったつ

〃

(＊ もうそろそろうつたとうかい、と表現する。)

はん煮え

はんば煮え

〃

吐く

あぐる(たばくる)

あぐる(どばく)

腹いっぱい

腹いっぺえ

腹いっぴやあ、たっぺつ

腹が減って力が入らない あやがねえなる(がてえひつきる)

あやがのうなる(がてやあひつきる)

罰があたる

ばちかぶる

〃

馬力がない

馬力がねえ

えんずいいがにやあ

(＊ もうそんげなえんずいがやあ、と表現する。)

仕事が早い

さづう、すこばえ

すこばえ、さでえ

速い

はええ

はやあ

バランスが崩れること

びやんぐる

〃

(背中の焚きもんがびやんぐつてしもうたが、と表現する。)

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

ひ 肘

ひじんこ

〃

膝

つぶし(すねぼず・すねこんぶ)

〃(すねぼす)

額

むこうづち、めっけん

〃

ひも

ひぼ(よま)

〃

棺

がんおけ

かんおけ

左利き

ぎつちよ

〃

びり

どんけつ(どへ)

〃

彼岸花の葉

とうずみら

〃

びしょ濡れ

ぼた濡れ

〃

ひどい

ひづう

ひでえ

低い

低う

ひきい

引きずる

ひこずる

ひこじる

ぞびく(ぞろびく)

〃

引き下がる

ひぞる

〃

引き上げる

ひこじりあぐる

〃

びっくりする

ひったまがる

〃 (おつとろしい)

ひもじい

ひだるう

ひだりい

暇をつぶす

なぐらかす(ひまくらす)

〃

(* なぐらかして、すまんのう、と表現する。)

相手が仕事をしている時に話しかけたりして仕事をさせないこと
日にちを繰り合わせる (ぐり合わせる) (すけぐり併せる)

控える

おらえる (おらゆる)

〃

広い

ひろう

ひれえ

(幅が広い)

だだびるう

だだびれえ

平べったい

ひらてえ

ひらちくわてあ

昼間一日中

ひがのいちにちじゅう

ひがのひずくし

ひがのひして

独り占めする

かじむる

がむる

ひっかける鍵

がんぎろ

〃

ひっこめる

ひぞくる

〃

ひっかく

かかじる

〃

美人ではないが可愛い

みじようがある

〃

久しぶり

ひそうぶり(久しい)

〃

(大変)忙しい

せわしい

しよわしい

人より遅れて勤めを果たす おくれぼし

〃

ひなたぼっこ

ぬくたんぼ

〃

ひかげ

ひぞえ

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

ふ

ブヨ

ブト

〃

ふところ

ふつくら

〃

古い物

がんとれ

ぐわんとれ

太い

ふつう

ふてえ

古い

ふるう

ふりい

ふざける

ぞくる(じるる)

ぞうくる(じるる)

(すばゆる)

(しれぞうくり)(すばゆる)

増える

いみる

〃

ぶつける

くらする

くらわする

不安定

あんびょうな

〃

ふき飛ばす

ふきとらかす

ふきとばかす

太っている

がてえがいい、こえとる

〃(じぐみがいい)

ふだんよりあかぬけしている でばれがする

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

へ

へなごし

〃

へそまがり

すりもげ

すりもぎやあ

(すりもぎやあすんな と表現する。)

平坦な所でも転ぶ

でえらごけ

でやあらごけ

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

ほ

ほっぺた

ふうたん

ほうたん

ほおずき

ふずき

ほおずき

ほこり

すぼ

〃

ボタン

はぜ

〃

ほうせんか

とびしやこ

とびしやこ

ポップコーン

はしらかし

〃

本当に

まこゝつ

まーこと(まこと)

ほったらかし

うしてふらかし

うしてさんぼ(ふしてふらかし)

方がない

ほうがねえ

ほうがにやあ

ほうけさんぱちやあねえ

ほうきやあさんぱちやあにやあ

ぼーっとしている ぼせーとしとる あくあたうんとしとる

ほどく ほつる(ほじく) ほじく

帽子もかぶらずにいる てんころぼし てえぎゆあ

ほしがる せぶる・おしがる //

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

ま
まむし

まへび

〃

薪

たきもの(ん)

〃

丸坊主

すこくり坊主

〃

まえかけ

まえだれ

〃

真ん中

まっぼし

〃

周り

ぐるり(ぐるたん)

〃

毎日

ひんび・いつも

〃

毎日毎日

ひんびひんび(いつもかつつも)みやあひんび

41

満水

がんばり・いっぺ

〃いっぴやあ

(* 水ががんばりたまつた、と使う)

曲がる

ひん曲がる(つん曲がる)

〃

曲げる

へし曲げる

〃

曲がりくねる ひよんごまんご・ひよんごひよんご

〃

全くだめなこと

ぼうどじゅねえ・ぼうどあかん

〃

丸い

まん丸う

まんまりい

まめな

ここしい

〃

丸める

つくねる

〃(つくぬる)

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

み

みみずく

おくぼどり

〃

溝

みぞ

びぞ

(*よそ見しとつと、びぞたんにおてこむが、と表現する)

身支度

にづくり

〃

(*えーれ、にづくりがいいが、どっか行くと、と表現する)

水タンク

ふねご

〃

水たまり

たんぽけ・たんぽり

たんぽり

水ぶくれができる

えびれが下がる

やぶれが下がる

明朝

明日の朝

〃

みんな

みんな

ぞろりぐわっせや

道すがら

道なんご

〃

密に植えとる

しつくに植えとる

しつくいに植えとる

見た目がごつごつしてる がまがましとる //

水気がなく元気がない状態 しぼなゆる //

水に浸す しめす //

(標準語) (田代地区) (山三ヶ地区)

む 麦わら帽子 むっからぼうし //

ムカデ ムカゼ //

むごい むごたらしい //

難しくてできない ようせん〓やすせん //

無理に擦り取る ひっこさぐ //

無理やり むとこくり //

むちやくちやに くぞうに くぞうもくぞう

(* やることがくぞうもくぞうじゃ、と表現する)

むくむ しこぶう しこびい

(標準語) (田代地区) (山三ヶ地区)

め 目玉 めんたま(めんくんだま) //

めんどうくさい やっけな めんどくろしい(やっきやあな)

めくる

はぐる

〃

目を回す

目がもうた

〃

目につく所に

目がかりに

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

ものしり

こそしり

こせやあしり

こつぽぬけ

〃

もつたいない

もつたいねえ

もつたいにやあ

あてれえ

あたりやあ

もつれる

もつらかる

もつるる

元も子もない

どでやあう(あ)っぱなす

どでやあうっぱなす

戻るときに

いにがけに

〃

戻す(水に)

ほとびらかす

〃

物事の終り目が悪い

つづまりがつかん

〃

物をかき集めていれること

さでこむ・こさぎこむ

〃

もどかす

とつらかす

〃

もしかして

ひよいとして

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

や 夜食

よながれ

〃

やぶの中

やぶらの中

やぜらわら

やつかいな

やつけな

〃(やつきやあな)

役にたたない

やくせん・あかん

〃

へのつっぱりにもならん

〃

やつれる

ぼそくれる

〃

(随分) 痩せている事

やせこけとる(やせひぼけ)

〃

休む

よこう

〃

(もう) やりたくない

やつちやおれん

〃

(* こんげなこと、いつまでもやつちやおれん、と表現する)

やりっぱなし

やったかぶし

〃

止める機会がない

やめはがねえ

やめはがにやあ

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

ゆ タベ

よんべ

〃

夕方

ばんげ・ばんがた

〃

夕刻まで働く

夜づむる

〃

夕ご飯

ゆうめし・ばんめし

〃(ようめし)

床の下

いかん下

いかの下

ゆつくり

じわんじわん・じわじわ

〃

ゆがむ

よがむ(まがる)

〃

ゆるい

ゆるぐわてえ

ゆるぐわてやあ

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

よ 弱る

よじるる

弱る

(*) どうか近頃よじれたね、と表現する(

寄り付く ぜつつく)よつつく・びつつく

〃

46

(*) くせえして、よつつきやならん。或いは、えろうなつて、よつつきやならん。と表下する。使い方はさまさま

〃

欲張る

かじむる(がむる)

〃

酔っぱらう

よくらう(えくらう)

〃

酔ってくだまくこと

いぐるする

えぐりいする

やまいもをほる

〃

余計なことをするな

せまぎるな(てんごすんな)

さやあまぎるな〃

横に倒れた状態

横たくり

〃

横に広い

だだびるう

だだびれえ

良いように扱われる

いいこつさるる

ええこつさるる

よほど

よつぽど

〃

余計な

よぎんな

〃

(*) よぎんなこた、言わんでいいが、と表現する)

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

り 理解できない

胸にこん(とえん)

〃

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

ろ ろくに

ろくすつぽ

〃

(*) よんべから、ろくすつぽ寝とらん、と表現する)

ろくな事(物)

まんろくな事(物)

〃

(*) なあんにも、まんろくなことはようせんとよ、と、使う)

(標準語)

(田代地区)

(山三ヶ地区)

わ 私

俺(んだ)

〃

(*) あんたんとが、通つとつたよ。えー、んだいやあ、どうしゅうと、使う)

私たち

んだどん

んだども

忘れた頃になって

後しねになって

後しにやあになって

(いつやいらん)

わがママを言う

やけを言う

〃

(小鳥などを取る) 小さなわな くぶちかけ

くびちかけ

忘れっぽい

ふうけがねえ

ほう(きやあ)がにやあ

わざわざ

しゃっち (しゃっちこっち)

〃(わざなく)

を(他)

屋号

ぬきや

かぎや

せど

かさ

上のやしき

ますだんご

新や

おもや

かみ

平

前田

いんきよや

宮ノ下

かじや

ろくろうや

畑の地名

しんびらき

じょうのほう

おうかん

せど

いちみやあだ

山の地名

おだち

（結び）

いつかは消えてしまうであろう方言を、なんとか形にでも残したい思いから、方言集制作に取り組みました。しかし何と言ってもよだきいが先に立ち、思うこと十年、取りかかって三年半でようやく完成はしたものの、さてこれをどうやって世に出す？ それに、これは、はたして、世に出せるものか？と、疑問が湧いてきました。そこであるお方にお知恵を拝借しましたところ、教育委員会にお願いして、生涯学習として取り組んでは、という言葉をいただき、友人、知人をお願いして、改めて最初からのスタートとなったわけです。方言といっても数多くあり、しかも山三ヶ地区と田代地区ではまた異なり、月一回の会合では話が弾み、「うち辺はそんなことは言わんね」と、大笑いの日も数多くありました。時には「標準語に直すには、どう言えばいいちやろかい」と、⁴⁹悪戦苦闘の日もありました。さらには、「こりや標準語じゃあねえかね（にやあかね）」。辞書を引いて「あら、まこつちやあ、標準語で載つとるわあ。私どもは（んだどま）標準語を使いよったもんじゃね」と、ここでまた大笑いをしました。一年半をかけてようやく製本の段階に至りましたが、その中では、教育委員会のお計らいにより開館後間もない、大分県立美術に視察研修を計画していただき、「神々の黄昏」と銘打たれた特別展を見学しました。また、速見の松屋寺では珍しい形のお墓や掛け軸、それから日本一大きな蘇鉄も見学することができました。とにかく、みなさまがたのご協力により、こんなにつばな方言集が出来たことが、何よりの喜びです。今後、教育の現場で、或いは病院

での待合時間等で活用していただければ幸いに思います。中には え？ と思われる言葉もあるかとも思いますが、その時は、なにとぞお心広くご解釈願えればと思います。方言の会に携わった皆様、そして協力いただいた教育委員会の鎌田さん、長い期間本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

平成二十八年 八月吉日 黒木 輝子